

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日よりよい明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

P2 運用状況をチェック!

P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください

P4 こどもトラスト、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

【10周年の感謝!】

皆さまのおかげをもちまして、2019年1月、コモンズ30ファンドの第10期目の決算を迎えることができました。役職員一同、心から御礼申し上げます。

10年前の2009年1月は、リーマンショック直後で株式市場もお客さまの投資に対する気持ちもとても冷え込んでいました。当時、日経平均株価は8,250円程度で株式専門家の間では「日経平均株価は5,000円になる」との声が多数聞かれました。こうした総悲観ムードの中、運用開始時に集まった資金は1億1,800万円でした。

その日、私と渋澤は「凍りついた地面ではあるけど、コモンズはしっかりとした長期投資の種をまくことが出来た。私たちが丁寧に手をかけていけば、きっと堅い地面から芽を出し大きく育つはずだ。」と社内にメッセージを出したことを覚えています。日本にも長期で成長する企業は一定数存在すること、そして、長寿社会では多くの方々が積み立てによる資産形成を必要とする時代がいずれ到来することを確認していました。この10年で、日経平均株価は2.5倍から3倍程度になり、コモンズ30ファンドはそれを上回る成績を出すことが出来ました。おかげさまで、コモンズ30ファンドの運用資産額は10年で100倍以上の約140億円となっています。わたしたちは、「投資とは、未来を信じる力」と考えていますが、この10年は、まさにそれを実感する日々でした。東日本大震災や75円に達した超円高など、さまざまな困難や短期的な痛みもありました。しかし、振り返れば長期的な資産形成は、こうした局面を乗り越えてきました。その結果、昨年秋に公表となった共通KPIにおいても、「利益の出ているお客さま比率で業界1位」となりました。長期的な資産形成に取り

渋澤と伊井の「今月の想い」

組んでいただいているお客さまの多さを示す指標となりました。私たちは、新しくはじまる10年においても、皆さまとともに未来を信じる力を育んでいきたいと考えています。これまで以上に、お客さまの長期的な資産形成に貢献できるように地道な調査活動をベースにした運用とそれを資産形成にシンプルに活用できるサービスの提供に日々、務めて参ります。新しい10年を迎えるコモンズ投信に、どうぞご期待ください。

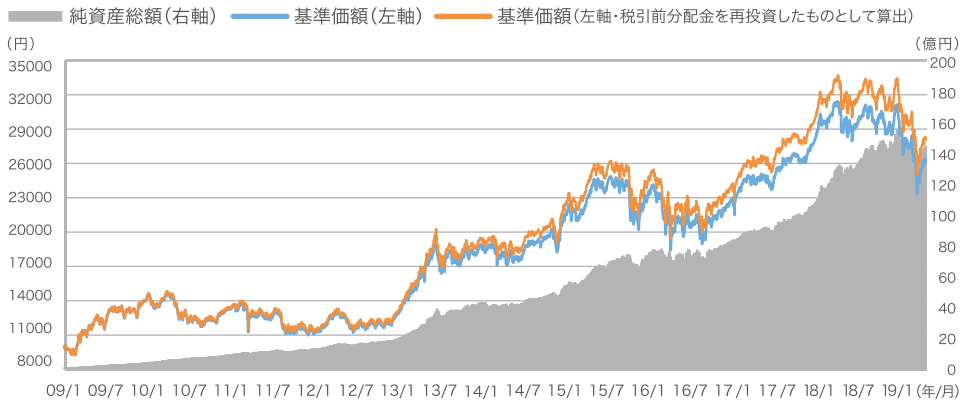
まずは、3月と4月の10周年イベントに是非、お越しください!

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井 哲朗



※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2019年1月31日付)

基準価額	26,336円
純資産総額	14,485百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.0584%(消費税込)です。

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2019年1月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
6.09%	▲5.01%	▲12.24%	▲13.12%	23.49%	48.84%	187.49%	182.66%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	第9期 (2018年1月18日)	第10期 (2019年1月18日)	設定来累計
220円	0円	240円	250円	0円	1,360円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

※当ファンドは2019/1/18に第10期目の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきます。10期目の決算を迎えられましたことに、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

運用状況 (組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。)

◎運用レビュー

1月のファンドの月間リターンは6.09%の上昇となりました。

◎1月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ディスコ(+25.14%)」、「東京エレクトロン(+24.93%)」、「堀場製作所(+18.71%)」となりました。ディスコは、第3四半期業績がスマホ市場の減退などにより下振れとなる旨の観測報道がありましたが、目先の悪材料出尽くし感が強まったことなどから株価は上昇しました。東京エレクトロンは、12月に株価が大きく下落した反動や米半導体銘柄の株価上昇などが好感されました。堀場製作所は、グローバルにおける自動車の規制強化やアジアを中心に環境規制強化が進んでおり、同社の分析機器の好調継続が期待されたことや他の半導体関連銘柄の株価上昇などが好感されました。下位3銘柄は、「資生堂(▲6.05%)」、「ユニ・チャーム(▲5.76%)」、「ヤマトHD(▲4.22%)」となりました。資生堂とユニ・チャームは、中国で2019年1月から施行された「中国電子商取引法」により、中国向け売上への悪影響が懸念されました。ヤマトホールディングスは、第3四半期累計営業利益が前年同期の2倍超に急拡大しましたが、材料出尽くしによる利益確定売りなどで株価は下落しました。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎運用責任者メッセージ

1月の内外金融市場は、昨年末の総悲観ムードから一転、反発局面となりました。米国FRB(連邦準備制度理事会)が、米国経済の先行きの不確実性が高まったとの判断から、利上げに対するスタンスを大きく軟化させたことを市場が好感しました。加えて、米中貿易問題に対する協議の進展もその流れを後押ししました。こうした環境下、国内株式市場も反発に転じました。市場センチメントも改善し、安川電機や日本電産の業績下方修正もむしろ織り込み済みとの反応となりました。景気減速や業績下方修正に対する警戒感が残る中でも相場は戻り歩調となっています。当ファンドは、市場全体の戻り以上の回復となりました。組入銘柄30社中21社の株価が月間騰落率でプラス、9社の株価がマイナスとなりました。値上がり率上位には、ディスコ、東京エレクトロン、堀場製作所とこれまでに売り込まれてきた銘柄の上昇が目立ちます。このことは、昨年秋以降の下落局面で、本質的な企業価値以上に株価が下がっていた銘柄の反発が大きいことを表しています。株価は下落していても当ファンドの投資先企業への自信は変わっていないとコメントしてきた内容に沿う結果でもあります。引き続き、不確実性の高い市場環境が続くと思いますが、本質的な企業価値への定点観測を丁寧に続けて参ります。引き続き、当ファンドにご期待ください。

◎投資委員会メンバー

最高運用責任者 伊井 哲朗

○伊井哲朗、渋谷健、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

※2019/2/1にアナリスト原嶋亮介が入社しました。詳しくは、p5お知らせをご覧ください。

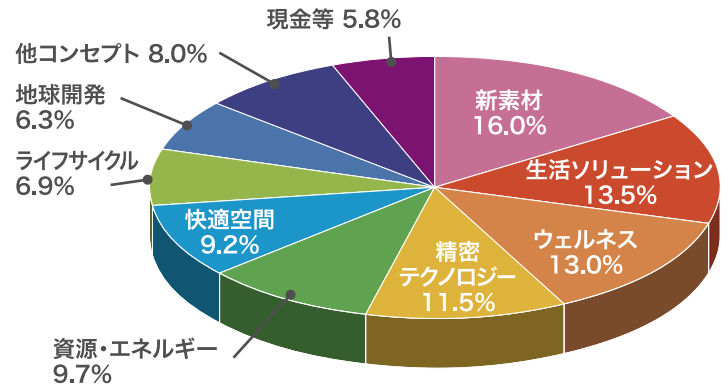
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	94.2%	▲4.0%
現金等	5.8%	+4.0%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2019年1月31日付)



組入上位10銘柄

(2019年1月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.7%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
2371	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.6%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.4%
3405	クラレ	新素材	真似できないアナログ化学会社	3.4%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.4%
3382	セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.3%
9783	ベネッセHD	ライフサイクル	「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す	3.3%
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.3%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

コマツは、社長交代の発表がありました。4月に大橋徹二社長が代表取締役会長に就任し、小川啓之専務が代表取締役社長(兼)CEOに就任します。小川氏は1961年生まれで、アメリカや国内、インドネシア勤務を経て、2016年4月から生産本部長を、昨年11月から中期経営担当を務めています。坂根正弘相談役の社長時代から続く、他社にまねできない製品やサービスを目指す「ダントツ経営」を継承していく意向です。

なお、1月はコマツの株価が16.74%上昇しました。同社の業績は、中国の景気動向に大きく影響されます。米中貿易摩擦の緩和期待などが株価の押し上げ材料となりました。足元2018年10～12月の連結営業利益は955億円、前年同期比28%増となりました。中国で伸び悩みましたが、北米や日本、インドネシアなどを中心に建設機械の売り上げが伸び、更新需要が中心の鉱山機械も順調に推移しました。

シニア・アナリスト 上野 武昭

10周年。コモンズ投信が大切にしてきたこと

コモンズ投信がファンドの運用を開始してから、10年が経ちました。

10年一区切りを機に、これまでの取組みについて「10周年。コモンズ投信が大切にしてきたこと」と題して綴っていきブログにて連載でお送りしたいと思います。まず初回である今回は、全体を俯瞰してコモンズが持っている世界観「コモンランド」についてです。

<https://park.common30.jp/2019/02/101.html>



コモンズ投信のコモンズはコモンランド(共有地)から来ています。コモンランドは、今日よりもよい明日を願う、願うだけでなくそのために行動している、想いを持った人たちが寄り集まる場所というイメージを持っています。そこには投資家という名の普通の生活者がいて、新しい価値を創造することをミッションとしている企業とそこで働く人たち(もちろんこの働く人たちも普通の生活者でもあります)がいます。また、生活に不便を感じながらも同じように今日よりもよい明日を願う障がいのある人や立場の弱い人も、そんな社会課題を解決しようと活動している人たちもいます。社員も、お客様も、投資先企業も、コモンランドにいる人たちが共通して持っているコアバリューこそ、「今日よりもよい明日を願い未来を信じる力がある」ということ。そういう人たちが寄り集まっている場所がコモンズ投信です。コモンズ投信は投資信託というしくみを使って世の中をよりよくできると考えています。コモンランドのなかで、投資家の想い(資金)をコモンズが受け取り、企業に投資する。企業と対話をしながら長期に共に歩む。企業の努力によって生み出された価値は世の中をより豊かにし、またその果実はファンドを通じて投資家に還っていく。新たに得られた果実の中から寄付をする。

コモンズが橋渡し役となって、未来を育む場所や機会を創る“インベストメントチェーン”を実現しています。10年間、その循環が滞ることなく続けられたこと、これからも長くそして大きく続くことは、皆の力を合わせてよりよい明日を切り拓いている証でもあります。相場が荒れるような時期も、未来を信じる力を持ったお仲間がどしどしとファンドを支えてくださり、昨年は「受益者の97.7%の方が利益を出していて、数ある金融機関の中で一番だった」という大変うれしい調査結果が発表されました。

そのようなお仲間と歩みを進めていることこそ、コモンズ投信が持つ力、他社にまねできない圧倒的な強みだと思っています。

マーケティング部 横山 玲子

コモンズSEEDCap応援先 認定NPO法人PIECES 小澤いぶきさんからのお知らせ

東京都内で活動説明会が開催されます。

小澤さんのお話を直接聞いてみたかった!という方はぜひこの機会に!

● 2/9(土) 13:00~14:30 Pieces活動説明会

～「子どもの孤立」を防ぐ仕組みづくりと実際～

場所:東京・本郷 social hive HONGO

<https://www.facebook.com/events/320026725520466/>

● 2/19(火) 19:00~20:45 PIECES×soar! 合同活動説明会

場所:渋谷 BOOK LAB TOKYO

<https://www.facebook.com/events/290489521819857/>

● 10周年コモンズフェスタ@東京でも、小澤さんのお話を聞いていただけます。 <https://www.common30.jp/seminars/detail/768>

なお、地方での講演も承っております。講演のご依頼は下記までお問い合わせください。 <https://www.pieces.tokyo/forms/>



高校生の本気の挑戦を応援!

東京学芸大学附属国際中等教育学校の生徒さんの自らの学びを自分たちの手で創りあげていくプロジェクトを応援しています。

<https://camp-fire.jp/projects/116739/activities#menu>

高校生なりの視点でNPO団体を「評価」し、応援する同プロジェクトについてはこちらをご覧ください。

<https://camp-fire.jp/projects/view/116739>

応援先候補の3団体をコモンズ社会起業家フォーラム登壇者よりご紹介させていただきました。

■ NPO法人D-SHIPS32 <http://dships32.com>

■ NPO法人PIECES <https://www.pieces.tokyo>

■ NPO法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン <http://japan.roomtoread.org>

SEEDCap 担当 馬越 裕子

■ お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

コモンズ投信運用報告会

お客さま
20代・男性

最近興味を持ったファンドだったのでより知りたいと思い参加しました。ミッションに対する熱意が伝わるセミナーでした。

資産を少しでも殖やしたい。投資の仕組みを知りたい。投資先企業の選定方針や会社の運用ビジョンに関わる部分を知りたくて参加しました。企業の成長の本質を見据え企業評価がなされていると感じた。

お客さま
50代・女性

はじめてのコモンズ

お客さま
30代・男性

コモンズ30ファンドについて深く理解することができた。NISA制度についても色々話をうかがうことが出来た。つみたて投資の注意点が聞けたのも良かったです。

こどもの部屋を用意していただきイヤイヤ期の子どもも安心して遊ばせていただきました。ありがとうございます。

気軽に質問できる感じが良かったです。10年前からこどもトラストがよいなと思っていましたが、つみたてNISAに選ばれたこと、自身の環境が安定したので改めて検討しようと思いました。他の方の質問を聞くことができ、理解を深めることがセミナーで聞かないとわからなかったので良かったです。

お客さま
30代・女性

■ Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	2月7日(木)	19:00~20:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)
	2月13日(水)	19:00~20:30	
	【お子様連歓迎】2月14日(木)	13:30~15:00	
	2月19日(火)	19:00~20:30	
	【お子様連歓迎】2月24日(日)	10:30~12:00	
	【お子様連歓迎】2月26日(火)	13:30~15:00	
北海道銀行×コモンズ投信共催セミナー よりよい明日のために ～未来を信じる力を育むコモンズ流投資術～	2月17日(日)	14:00~15:30	TKPガーデンシテPREMIUM札幌大通 (北海道札幌市)
コモンズのアナリストに聞いてみよう!	2月28日(木)	19:00~20:30	カフェサルバドルビジネスサロン(東京都中央区)
コモンズ投信 10周年コモンズフェスタ	【京都】3月16日(土)	13:00~17:00	国立京都国際会館(京都府京都市)
	【東京】4月6日(土)	13:00~17:40	SMBCホール(東京都千代田区)

■ お知らせ

2019年2月1日、運用部に新メンバーを迎えました。本人からの挨拶とお仲間の皆さまへのメッセージです。
「皆様、はじめまして。2月1日付でアナリストとして入社しました原嶋亮介です。これまで、ブリヂストン、日東電工、J-REIT資産運用会社にて、経理・財務・IRを中心に約16年のキャリアを積んで参りました。企業の側から機関投資家と接してきた経験はアナリストとして仕事をする中でも必ず生きてくると考えておりますので、自分なりの視点というものを大事にしつつ、コモンズの更なる発展の力になりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。」



アナリスト 原嶋 亮介

販売会社一覧

販売会社名称		加入協会						つみたて NISA取扱
		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○	○
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○					○
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○				
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○					○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○				○
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○					○
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○				○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○					
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○				○
静銀ディーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○					●
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第7号	○	○				●
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金)第6号	○					●
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第3号	○					●
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第10号	○	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○				○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○		○	●
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第1977号	○					●
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商)第5号	○					●
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第56号	○					●
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第7号	○	○				
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金)第3号	○					
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第3071号	○					○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第134号	○					
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○				○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第624号	○	○				○
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第6号	○	○				

●はつみたてNISAのみ

■ コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

■ その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.0584%(税抜0.98%)を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>